

Atsuya Tominaga 富長 敦也

Love Stone Project - Fuchu

"ハートの石を磨く"

2018.7/21(Sat) - 9/2(Sun)



▲ 第25回UBEビエンナーレ 大賞作品「Our Love」



▲ 石をサンドペーパーで磨く

「Love Stone Project(ラヴ・ストーン・プロジェクト)」は、日本と世界の各地を旅して、ハート形に彫刻した石を、その土地で出会う人々と一緒に磨き、みんなの想いで輝かせるプロジェクトです。

彫刻家の富長敦也は、2011年の東日本大震災のあと、出来事のすべてを見ていた石の声を聞くために、被災した東北の町を訪れました。そこで、石を割ったときに偶然生まれた自然のハートを発見し、人々が石を通じて自然の一部であることを感じれば、世界は一つになれることを確信したといいます。それ以来、人々とともに富長はハート形の石を磨く活動を始めました。

2013年には、イタリア・イラン・旧ユーゴスラビアの石(トラバーチン)による《Our Love》が、第25回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)で大賞を受賞、本格的に各地で取り組むきっかけとなりました。これまでにプロジェクトは、世界150か所で行われ、およそ2万人が参加しています。

作家による制作を見るだけでなく、観客も一緒に触れて制作に参加することのできる公開制作です。



府中市美術館公開制作74
Open Studio Program 74
in Fuchu Art Museum

府中市美術館

協力: 一穂堂 **IPPodo gallery**
TOKYO - NEW YORK

富長 敦也 Love Stone Project - Fuchu

2018年7月21日(土)～9月2日(日)

休館日 月曜日

開館時間 10:00～17:00

公開制作室 (観覧・参加 無料)



制作公開 10:00～17:00

7/21(土)・22(日)・28(土)・29(日)

8/10(金)・11(土・祝)・12(日)・14(火)・15(水)・31(金)

9/1(土)・2(日)

制作公開日には、だれでも作家と一緒に世界の石を磨くことができます。

*毎週土・日曜日13:00～17:00は、当館普及員のガイドで磨きます。

富長敦也(とみなが・あつや)

1961年、大阪市生まれ。1986年、金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科修了。能勢黒御影石切場(大阪府豊能郡)にて制作を始める。1988年、大阪中之島緑道彫刻公募にて受賞。1990年、第3回三田彫刻コンペティションにて特別賞受賞(兵庫)。1997年、(財)ポーラ美術振興財団在外研修助成を受け、イタリアにて滞在・制作。国内外において原始的な手法で石を彫る制作を行う。1998年、神戸学院大学創立30周年記念モニュメントコンクールにて一位指名。2008年・2012年、Ippodo New Yorkにて個展。2013年、第25回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)にて大賞受賞、LongHouse Reserveに作品収蔵。以後、世界各地で「Love Stone Project」を行う。2015年、ときわミュージアムにて個展。2017年、豊中市立文化芸術センターにて個展。

キックオフイベント

「府中から世界に届け! 石のたね」

7/21(土) 14:00～16:00

公開制作室 無料・予約不要
(時間内いつでも参加可)

世界各地でLove Stone Projectの参加者に配る「石のたね」を作ります。



アーティストトーク

「アートと人と社会をつなぐ」

9/2(日) 14:00～

講座室 無料・予約不要

Love Stone Projectを中心に、アート・社会・人をつなぐプロジェクトの可能性を探ります。

出演

富長敦也(公開制作作家)

三浦梨絵(ときわミュージアム/UBEビエンナーレ事務局学芸員)

武居利史(当館学芸員)



交通案内

○京王線東府中駅北口から

・徒歩 17分

・ちゅうバス府中駅行きで「府中市美術館」①下車(8:05から毎時30分間隔・100円)

○京王線府中駅からバス

・ちゅうバス多磨町行きで「府中市美術館」①下車(8:00から毎時30分間隔・100円)

・武蔵小金井駅南口行き(一本木経由)「天神町二丁目」②下車すぐ

・武蔵小金井駅南口行き(学園通り経由)「天神町幼稚園」③下車徒歩8分

○JR中央線武蔵小金井駅南口からバス

・府中駅行き(一本木経由)「一本木」④下車すぐ

・府中駅行き(学園通り経由)「天神町幼稚園」⑤下車徒歩8分

○お車の場合は、美術館近くの府中市臨時駐車場をご利用ください。



府中市美術館

〒183-0001 東京都府中市浅間町1-3 ハローダイヤル:03-5777-8600

同時開催 企画展 「青春の苦悩と孤独を歓喜にかえた画家たち：木田次郎展」

常設展 「江戸時代から現代まで(後期)」

牛島憲之記念館 「人工物のある風景」